

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【公表番号】特表2007-508053(P2007-508053A)

【公表日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2007-013

【出願番号】特願2006-534310(P2006-534310)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/02 (2006.01)

A 6 1 B 17/08 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/02

A 6 1 B 17/08

A 6 1 L 31/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒトの胃壁に形成された少なくとも一つの組織ポケット内に保持可能な肥満調節装置であつて、

ヒトの胃壁に形成された組織ポケット内に保持されるように寸法付けられた部材と、この部材に取り付けられた体重減量要素とを備える装置。

【請求項2】

請求項1の装置において、前記部材は組織ポケットを通じて延伸自在であり、前記体重減量要素は前記部材のインプラントの後に取り付け可能である装置。

【請求項3】

請求項1の装置において、前記体重減量要素が制限デバイスを含み、この制限デバイスは、食道から胃への通路を事実上狭めて、胃への食物流量を制限するように寸法付けられている装置。

【請求項4】

請求項1の装置において、前記体重減量要素が拡張自在な空間占有デバイスを含み、このデバイスは、胃の有効容積を減少させるように寸法付けられている装置。

【請求項5】

請求項1の装置において、前記体重減量要素は、空腹調節剤を包含する薬物溶出デバイスを含む装置。

【請求項6】

請求項1の装置において、前記部材は、前記装置へ取り付けられた組織侵襲ファスナーを用いることなく、組織ポケット内へ保持可能である装置。

【請求項7】

請求項1の装置において、前記装置は、組織ポケットが第1及び第2の開口を含んで形成されたヒトの胃内に配置可能であり、前記部材は延伸自在な保持要素を含み、この保持要素は第2の開口を通じて挿入可能であり、第2の開口を通じる保持要素の移動を防いで、

前記部材の組織ポケットからの解放を防ぐように拡張自在である装置。

【請求項 8】

請求項7の装置において、前記保持要素が膨張自在である装置。

【請求項 9】

請求項7の装置において、前記保持要素は、径が低減した姿勢へ圧縮である装置。

【請求項 10】

請求項7の装置において、前記保持要素が前記部材の組織ポケットからの解放を防止するように変形可能である装置。

【請求項 11】

請求項7の装置において、前記保持要素が組織ポケットの第1の開口及び第2の開口を通じて延在するクリップである装置。

【請求項 12】

請求項3の装置において、前記制限デバイスがリングである装置。

【請求項 13】

請求項3の装置において、前記制限デバイスがメッシュスクリーンである装置。

【請求項 14】

請求項3の装置において、前記制限デバイスが膨張自在なバルーンである装置。

【請求項 15】

請求項3の装置において、前記制限デバイスがポーチである装置。

【請求項 16】

請求項1の装置において、ヒトの胃の表面組織を付着させることにより形成された組織ポケット内に保持されるように寸法付けされた前記部材を複数含む装置。

【請求項 17】

請求項1の装置において、少なくとも3つの前記部材を含む装置。

【請求項 18】

胃インプラントシステムであって、

ヒトの胃内に挿入可能であり、胃壁の領域を付着させて組織ポケットを形成する器具と、

前記ヒト胃内にインプラント可能な医療用インプラントとを備え、その医療用インプラントは、前記組織ポケット内に保持するように寸法付けられた少なくとも一つの部分を含む胃インプラントシステム。

【請求項 19】

請求項18の胃インプラントシステムにおいて、前記医療用インプラントが薬物送達デバイスである胃インプラントシステム。

【請求項 20】

請求項18の胃インプラントシステムにおいて、前記医療用インプラントが診断デバイスである胃インプラントシステム。

【請求項 21】

請求項18の胃インプラントシステムにおいて、前記医療用インプラントが抗還流デバイスである胃インプラントシステム。

【請求項 22】

請求項18の胃インプラントシステムにおいて、前記医療用インプラントが体重減量を誘発するように胃内に配置可能である胃インプラントシステム。

【請求項 23】

請求項18の胃インプラントシステムにおいて、前記医療用インプラントが胃の有効容積を低減するように胃内に配置可能な拡張自在空間占有体である胃インプラントシステム。

【請求項 24】

請求項18の胃インプラントシステムにおいて、前記医療用インプラントが、胃への食物の流量を制限するように胃内に配置可能な流量制限デバイスである胃インプラントシステム。

ム。

【請求項 2 5】

請求項 1 8 の 胃インプラントシステムにおいて、前記器具が縫合器具である 胃インプラン
トシステム。

【請求項 2 6】

請求項 1 8 の 胃インプラントシステムにおいて、前記器具がステーブリング器である 胃イ
ンプラントシステム。

【請求項 2 7】

請求項 1 8 の 胃インプラントシステムにおいて、前記器具がクリップアプライアである
胃インプラントシステム。

【請求項 2 8】

請求項 1 8 の 胃インプラントシステムにおいて、前記医療用インプラントは、前記器具を
用いて形成された複数の組織ポケット内に保持されるように寸法付けられた複数の脚部材
を含む 胃インプラントシステム。

【請求項 2 9】

請求項 1 8 の 胃インプラントシステムにおいて、前記医療用インプラントは、前記医療用
インプラントに物理的に接続される 組織侵襲ファスナーを使用することなく、組織ポケッ
ト内に保持可能である 胃インプラントシステム。

【請求項 3 0】

請求項 1 8 の 胃インプラントシステムにおいて、胃壁組織に組織襞を形成し、その組織襞
に孔を形成するようにユーザーに指示する使用説明のための指示を含み、前記孔は前記組
織ポケットを包含し、前記胃インプラントトシステムは前記孔を通じて延伸可能且つ前記
孔内に保持可能な少なくとも一つの部分を含む胃インプラントシステム。

【請求項 3 1】

請求項 3 0 の 胃インプラントシステムにおいて、前記使用説明のための指示は、胃壁組織
に複数の組織襞を形成し、その組織襞に複数の孔を形成するようにユーザーに指示し、前
記胃インプラントトシステムは対応する一つの前記孔を通じて延伸可能且つ当該一つの孔
内に保持可能な複数の第1の部分と、この複数の第1の部分へ取り付けられる第2の部分
とを含む胃インプラントシステム。

【請求項 3 2】

キットであって、

胃内に配置可能な医療用インプラントと、

移植法の説明に用いる指示とを備え、この指示は、

胃の壁に組織ポケットを形成し、この組織ポケットは胃の内室へ露呈された第1の開
口を有する段階と、

前記医療用インプラントの少なくとも一部を前記組織ポケット内に保持する段階とを
含むキット。

【請求項 3 3】

請求項 3 2 のキットにおいて、腹腔鏡的な切除及び締結器具を更に含むと共に、前記説明
に用いる指示は前記腹腔鏡的な切除及び締結器具を用いて組織ポケットを形成するキット
。

【請求項 3 4】

請求項 3 2 のキットにおいて、前記医療用インプラントは体重減量のためのインプラント
であるキット。

【請求項 3 5】

請求項 3 4 のキットにおいて、前記医療用インプラントは摂取された食物の食道から胃へ
の流れを遅くするように寸法付けられているキット。

【請求項 3 6】

請求項 3 5 のキットにおいて、前記医療用インプラントは閉塞デバイスであるキット。

【請求項 3 7】

請求項3 5のキットにおいて、前記医療用インプラントは制限デバイスであるキット。

【請求項 3 8】

請求項3 5のキットにおいて、前記使用説明のための指示は、胃壁組織に組織襞を形成し、その組織襞に孔を形成するようにユーザーに指示し、前記孔は前記組織ポケットを包含し、前記胃インプラントトシステムは前記孔を通じて延伸可能且つ前記孔内に保持可能な少なくとも一つの部分を含むキット。

【請求項 3 9】

請求項3 8のキットにおいて、前記医療用インプラントは前記孔を通じて延伸可能且つ当該孔内に保持可能な第1の部分と、この第1の部分へ取り付け可能な第2の部分とを含むキット。

【請求項 4 0】

請求項3 9のキットにおいて、第2の部分は摂取食物の食道から胃への流れを遅くするよう寸法付けられているキット。

【請求項 4 1】

請求項3 9のキットにおいて、前記使用説明のための指示は、胃壁組織に複数の組織襞を形成し、その組織襞に複数の孔を形成するようにユーザーに指示し、前記胃インプラントトシステムは対応する一つの前記孔を通じて延伸可能且つ当該一つの孔内に保持可能な複数の第1の部分と、この複数の第1の部分へ取り付けられる第2の部分とを含むキット。

【請求項 4 2】

医療用インプラントシステムであって、

体腔の壁上の体組織の領域を付着させて襞を形成するために身体へ挿入可能な器具と、前記体組織の領域の間に配置可能な強化要素と、

少なくとも、前記体組織の領域の間に粘着が形成されるまで、襞を保持する保持手段とを備える医療用インプラントシステム。

【請求項 4 3】

請求項4 2の医療用インプラントシステムにおいて、

体腔内に配置可能であり、前記襞により体腔内に保持されるように構成された医療用インプラントを更に備える医療用インプラントシステム。

【請求項 4 4】

請求項4 3の医療用インプラントシステムにおいて、前記医療用インプラントが薬物送達デバイスである医療用インプラントシステム。

【請求項 4 5】

請求項4 3の医療用インプラントシステムにおいて、前記医療用インプラントが診断デバイスである医療用インプラントシステム。

【請求項 4 6】

請求項4 3の医療用インプラントシステムにおいて、前記医療用インプラントが抗還流デバイスである医療用インプラントシステム。

【請求項 4 7】

請求項4 3の医療用インプラントシステムにおいて、前記医療用インプラントが体重を減量するように胃内に配置可能である医療用インプラントシステム。

【請求項 4 8】

請求項4 3の医療用インプラントシステムにおいて、前記医療用インプラントは、胃の有効容積を減少させるように胃内で拡張自在な空間占有体である医療用インプラントシステム。

【請求項 4 9】

請求項4 3の医療用インプラントシステムにおいて、前記医療用インプラントは、胃への食物の流量を制限するように胃内に配置可能な流量制限デバイスである医療用インプラントシステム。

【請求項 5 0】

請求項4 2の医療用インプラントシステムにおいて、前記器具は縫合器具である医療用イ

ンプラントシステム。

【請求項 5 1】

請求項4 2の医療用インプラントシステムにおいて、前記器具はステークリング器具である医療用インプラントシステム。

【請求項 5 2】

請求項4 2の医療用インプラントシステムにおいて、前記器具はクリップアプライヤーである医療用インプラントシステム。

【請求項 5 3】

請求項4 2の医療用インプラントシステムにおいて、前記保持手段は、縫合糸、ステーブル、クリック、ファスナー、t字状バー、綿撤糸、接着剤、及びスタッドからなるグループから選択される医療用インプラントシステム。

【請求項 5 4】

請求項4 2の医療用インプラントシステムにおいて、胃組織の二つの漿膜層が互いに対向する組織襞を形成し、この襞の前記二つの漿膜層の間に前記強化要素を配置して、前記保持手段を用いて前記襞を保持するようにユーザーに指示する使用説明のための指示を含む医療用インプラントシステム。